

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人目白学園

(2) 大学名

目白大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒161-8539
東京都新宿区中落合4-31-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オザキ ハルキ) 尾崎 春樹 (平成27年1月)		
学長	(サワザキ タツオ) 沢崎 達夫 (平成30年4月)		
学部長	(コイケ マキコ) 小池 眞規子 (令和2年4月)		
学科長等	(コイケ マキコ) 小池 眞規子 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
心理学部 心理カウンセリング学科 学士(心理学)	文学関係	4年	125人	— 年次人	500人	新規入学者を募集集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	125 (—) [—]	—	125 (—) [—]	—	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	1.08 倍	— 倍	
志願者数	1,616 (—) [23]	— (—) [—]	1214 (—) [14]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	1,554 (—) [23]	— (—) [—]	1167 (—) [14]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	384 (—) [—]	— (—) [—]	413 (—) [2]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	134 (—) [—]	— (—) [—]	137 (—) [2]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.07		1.09										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	134 [0] (—)	— [—] (—)	137 [2] (—)	[] [] (—)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		133 [0] (—)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次	/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4年次	/		/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
計	134 [0] (—)		270 [2] (—)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	134 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	270 人	1 人	令和2年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{134} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{270} = \boxed{0.37} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理カウンセリング学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	フレッシュマンセミナー	1前	1			4	2					
	ベーシックセミナー	1後	1			4	2					
	小計(2科目)	-										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2		1						兼13
	知の探究法	1後		2								兼5
	「目白大学」を知る	1前		2								兼11
	科学的なものの見方・考え 方	1後		2								兼4
	小計(4科目)	-										
学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2								兼2
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2		1		1				兼4
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼5
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼2
小計(11科目)	-											
異分野入門科目	人文系学生のための情報 ネットワーク・データ活用 入門	2前		2								兼4
	マスメディア学入門	2前		2								兼8
	江戸から東京へ	2前		2								兼3
	ビジネス偉人伝～先達に学 ぶ生きるための智慧	2前		2								兼4
	ことばの「しくみ」と「は たらき」	2前		2								兼3
	東アジアの言語と文化	2前		2								兼2
	古典に学ぶ	2前		2								兼1
	小計(7科目)	-										
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前		2			1					兼4
	サステイナブル社会を考える	3前		2								兼4
	食と農から考える地域と世界	3後		2								兼2
	世界の今を学ぼう	3後		2								兼1
	小計(4科目)	-										
総合科目	日本国憲法	1前・後		2								兼1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	フレッシュマンセミナー	1前	1			1	5	4				
	ベーシックセミナー	1後	1			1	5	4				
	小計(2科目)	-										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2			1					兼13
	知の探究法	1前		2								兼5
	「目白大学」を知る	1前		2								兼11
	科学的なものの見方・考え 方	1前		2								兼4
	小計(4科目)	-										
学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2								兼3
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2			1	1				兼3
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼6
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼1
小計(11科目)	-											
異分野入門科目	人文系学生のための情報 ネットワーク・データ活用 入門	2前		2								兼4
	マスメディア学入門	2前		2								兼8
	江戸から東京へ	2前		2								兼3
	ビジネス偉人伝～先達に学 ぶ生きるための智慧	2前		2								兼5
	ことばの「しくみ」と「は たらき」	2前		2								兼3
	東アジアの言語と文化	2前		2								兼2
	古典に学ぶ	2前		2								兼1
	小計(7科目)	-										
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前		2			1					兼4
	サステイナブル社会を考える	3前		2								兼5
	食と農から考える地域と世界	3後		2								兼5
	世界の今を学ぼう	3後		2								兼5
	小計(4科目)	-										
総合科目	日本国憲法	1前・後		2								兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
資格関連科目	遺跡を科学する(考古学)	1後		2							兼1
	芸術と人間(芸術論)	1後		2							兼1
	政治のしくみ(政治学)	1前		2							兼1
	アジアの歴史と文化(東洋史)	1後		2							兼1
	西洋の歴史と文化(西洋史)	1後		2							兼1
	日本の歴史(日本史)	1前・後		2							兼2
	環境物理学	1後		2							兼1
	自然地理学概説	1後		2							兼1
	やさしい観光開発(観光開発論)	1後		2							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	法学	1前・後		2							兼1
	社会学概論	1前		2							兼1
	漢文学の世界(漢文学論)	1前		2							兼1
	現代文学	1前		2							兼1
	倫理	1前		2							兼1
	小計(16科目)	—									
国語	日本語読解演習Ⅰ	1前	1								兼4
	日本語読解演習Ⅱ	1後	1								兼4
	日本語表現演習Ⅰ	2前	1								兼4
	日本語表現演習Ⅱ	2後	1								兼4
	専門レポート基礎演習	2後	1								兼2
	小計(5科目)	—									
共通科目	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅰ	1前	1								兼4
	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅱ	1後	1								兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅰ	1前	1								兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅱ	2前	1								兼4
	専門基礎英語(Basic English for Special Fields)	2後	1								兼3
	English Test Strategies	1前・後	1								兼5
	English Using CALL	1前・後	1								兼2
	Advanced Reading	2前	1								兼1
	Business English	2前・後	1								兼1
	Communication in the Media	2前・後	1								兼1
	Communicative Listening and Writing	2前・後	1								兼1
	Dynamics of English Sound	2前・後	1								兼1
	Film English	2前・後	1								兼2
	Practical English Grammar	2前・後	1								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
資格関連科目	遺跡を科学する(考古学)	1前・後		2							兼1
	芸術と人間(芸術論)	1後		2							兼1
	政治のしくみ(政治学)	1前・後		2							兼1
	アジアの歴史と文化(東洋史)	1後		2							兼1
	西洋の歴史と文化(西洋史)	1前・後		2							兼1
	日本の歴史(日本史)	1前・後		2							兼1
	環境物理学	1後		2							兼1
	自然地理学概説	1後		2							兼1
	やさしい観光開発(観光開発論)	1後		2							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	法学	1前・後		2							兼1
	社会学概論	1前		2							兼2
	漢文学の世界(漢文学論)	1前		2							兼1
	現代文学	1前		2							兼1
	倫理	1前		2							兼1
	小計(16科目)	—									
国語	日本語読解演習Ⅰ	1前	1								兼4
	日本語読解演習Ⅱ	1後	1								兼4
	日本語表現演習Ⅰ	2前	1								兼4
	日本語表現演習Ⅱ	2後	1								兼4
	専門レポート基礎演習	2後	1								兼2
	小計(5科目)	—									
共通科目	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅰ	1前	1								兼4
	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅱ	1後	1								兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅰ	1前	1								兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅱ	2前	1								兼4
	専門基礎英語(Basic English for Special Fields)	2後	1								兼4
	English Test Strategies	1前・後	1								兼4
	English Using CALL	1前・後	1								兼2
	Advanced Reading	2前	1								兼1
	Business English	2前・後	1								兼1
	Communication in the Media	2前・後	1								兼1
	Communicative Listening and Writing	2前・後	1								兼1
	Dynamics of English Sound	2前・後	1								兼1
	Film English	2前・後	1								兼2
	Practical English Grammar	2前・後	1								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語	中国語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼4
	中国語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	中国語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	韓国語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼2
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	韓国語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	インドネシア語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼1
	インドネシア語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼1
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼3
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	フランス語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	スペイン語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼1
	スペイン語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼1
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	応用中国語演習	2後		1								兼1
	応用韓国語演習	2後		1								兼1
応用インドネシア語演習	2後		1								兼1	
応用フランス語演習	2後		1								兼1	
応用ドイツ語演習	2後		1								兼1	
応用スペイン語演習	2後		1								兼1	
小計(38科目)		—										
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2									兼4
	情報活用演習Ⅱ	2後	2									兼2
	情報活用基礎演習A	1前・後		2								兼2
	情報活用基礎演習B	1後		2								兼1
	情報活用応用演習	1前・後		2								兼2
	情報活用特別演習	2前		2								兼1
	数と情報	1前・後		2								兼2
小計(7科目)		—										
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後		1								兼3
	生涯スポーツ2	2前・後		1								兼6
	生涯スポーツ3	3前・後		1								兼2
	健康科学	1前・後		1								兼2
	健康科学演習(心とからだ)	2後		1								兼2
小計(5科目)		—										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語	中国語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼4
	中国語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	中国語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	韓国語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼2
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	韓国語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	インドネシア語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼1
	インドネシア語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼1
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼3
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	フランス語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	スペイン語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼1
	スペイン語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼1
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	応用中国語演習	2前・後		1								兼1
	応用韓国語演習	2後		1								兼1
応用インドネシア語演習	2後		1								兼1	
応用フランス語演習	2後		1								兼1	
応用ドイツ語演習	2後		1								兼1	
応用スペイン語演習	2後		1								兼1	
小計(38科目)		—										
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2									兼4
	情報活用演習Ⅱ	2後	2									兼4
	情報活用基礎演習A	1前・後		2								兼2
	情報活用基礎演習B	1後		2								兼1
	情報活用応用演習	1前・後		2								兼1
	情報活用特別演習	2前		2								兼1
	数と情報	1前・後		2								兼1
小計(7科目)		—										
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後		1								兼2
	生涯スポーツ2	2前・後		1								兼7
	生涯スポーツ3	3前・後		1								兼4
	健康科学	1前・後		1								兼1
	健康科学演習(心とからだ)	2後		1								兼2
小計(5科目)		—										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キャリアデザイン	専門とキャリアA	2前	1			1	2	2				兼1
	専門とキャリアB	2後	1			1	2	2				兼1
	仕事と社会	3前		1								兼1
	キャリア研修Ⅰ	1前・後		2								兼1
	キャリア研修Ⅱ	2前・後		2								兼1
	小計(5科目)	—										
心理学導入科目	心理学と社会A(家族とこころ)	1後		2		1						
	心理学と社会B(多様性・文化とこころ)	1前		2		1						
	心理学と社会C(消費者とこころ)	1後		2								兼1
	心理学と社会D(人間関係とこころ)	1後		2								兼1
	心理学と社会E(子ども相談入門)	1後		2			1					
	心理学と社会F(こころの予防教育)	1前		2				1				
	小計(6科目)	—										
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2									兼1
	臨床心理学概論	1前	2					1				
	心理学統計法	1後	2				2					兼2
	心理学研究法	2前	2					1				
	心理学実験	2後	4				1		2			兼3
	小計(5科目)	—										
基本科目	知覚・認知心理学	1後	2									兼1
	学習・言語心理学	1後	2									兼1
	感情・人格心理学	2前	2			1						
	神経・生理心理学	1前	2									兼1
	社会・集団・家族心理学	1後	2					1				
	発達心理学	1前	2			1						
	障害者・障害児心理学	2後	2			1						
	小計(7科目)	—										
心理学発展科目 実践科目	健康・医療心理学	2前		2		1						
	福祉心理学	2後		2				1				
	教育・学校心理学	2前		2		1						
	司法・犯罪心理学	2前		2			1					
	産業・組織心理学	2後		2				1				
	小計(5科目)	—										
心理学発展科目 関連科目	精神疾患とその治療	2後	2			1						
	人体の構造と機能及び疾病	3前		2		1						
	公認心理師の職責	3前		2				1				
	関係行政論	3後		2		1	1	3				
小計(4科目)	—											
心理学発展科目 実践科目	家族心理学特講A(子どもの心理療法)	2後		2			1					
	家族心理学特講B(芸術療法)	3後		2								兼1
	対人関係心理学特講A(バーソナリティと心理学)	2前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キャリアデザイン	専門とキャリアA	2前	1			1	5	4				
	専門とキャリアB	2後	1			1	5	4				
	仕事と社会	3前		1								兼1
	キャリア研修Ⅰ	1前・後		2								兼1
	キャリア研修Ⅱ	2前・後		2								兼1
	小計(5科目)	—										
心理学導入科目	心理学と社会A(家族とこころ)	1後		2		1						
	心理学と社会B(多様性・文化とこころ)	1前		2		1						
	心理学と社会C(消費者とこころ)	1前		2								兼1
	心理学と社会D(人間関係とこころ)	1後		2								兼1
	心理学と社会E(子ども相談入門)	1後		2						1		
	心理学と社会F(こころの予防教育)	1前		2						1		
	小計(6科目)	—										
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2									兼1
	臨床心理学概論	1前	2					1				
	心理学統計法	1後	2				1	1				兼2
	心理学研究法	2前	2						1			
	心理学実験	2後	4				1			2		兼3
	小計(5科目)	—										
基本科目	知覚・認知心理学	1後	2									兼1
	学習・言語心理学	1後	2									兼1
	感情・人格心理学	2前	2			1						
	神経・生理心理学	1前	2									兼1
	社会・集団・家族心理学	1後	2					1				
	発達心理学	1前	2			1						
	障害者・障害児心理学	2後	2			1						
	小計(7科目)	—										
心理学発展科目 実践科目	健康・医療心理学	2前		2		1						
	福祉心理学	2後		2				1				
	教育・学校心理学	2前		2		1						
	司法・犯罪心理学	2前		2			1					
	産業・組織心理学	2後		2				1				
	小計(5科目)	—										
心理学発展科目 関連科目	精神疾患とその治療	2前		2		1						
	人体の構造と機能及び疾病	3前		2		1						
	公認心理師の職責	3前		2				1				
	関係行政論	3後		2		1	1	2	2			
小計(4科目)	—											
心理学発展科目 実践科目	家族心理学特講A(子どもの心理療法)	2後		2						1		
	家族心理学特講B(芸術療法)	3後		2								兼1
	対人関係心理学特講A(バーソナリティと心理学)	2前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	対人関係心理学特講B(ストレスと行動変容)	3前	2			1							
	多様性心理学特講A(コミュニティ心理学)	2後	2								兼1		
	多様性心理学特講B(異文化・多様性カウンセリング)	3前	2		1								
	福祉心理学特講A(成人と高齢者の心理学)	2前	2			1							
	福祉心理学特講B(児童養護)	3前	2				1						
	学校心理学特講A(ピア・サポートA)	3前	2		1	1		2					
	学校心理学特講B(ピア・サポートB)	3後	2		1	1		2					
	学校心理学特講C(学校臨床心理学)	2後	2			1							
	医療健康心理学特講A(力動的心理療法)	2前	2								兼1		
	医療健康心理学特講B(認知行動療法)	2後	2			1							
	医療健康心理学特講C(スポーツ心理学)	3前	2								兼1		
	医療健康心理学特講D(身体疾患と心理)	3後	2		1								
	司法犯罪心理学特講A(被害者支援心理学)	2前	2				1						
	司法犯罪心理学特講B(心理学と法)	2後	2			1							
	司法犯罪心理学特講C(加害と被害の臨床心理学)	3後	2				1						
	産業心理学特講A(キャリア心理学)	2前	2				1						
	産業心理学特講B(産業カウンセリング)	3後	2								兼1		
	小計(20科目)	—											
	心理学専修科目	心理学体験実習A(ボランティア)	1前	1			1		1				
心理学体験実習B(異文化体験)		2後	1		1			1					
心理学体験実習C(メンタルサポートボランティア)		3前	1			1		1					
心理学入門演習		1前	2				1	3			兼1		
心理学基礎演習		2前	2			2		2			兼1		
心理学調査法		3後	2			1							
小計(6科目)		—											
心理学実習科目	心理的アセスメント	3後	2				1						
	心理学的支援法	3前	2			1							
	心理演習A	4前	2		1	1	1						
	心理演習B	4後	2		1	1	1						
	心理実習	4通	2		3	6	3				兼1		
	小計(5科目)	—											
研臨修地	臨地研修(短期)	2・3前	2				2						
	臨地研修(長期)	2・3通	4				2						
	小計(5科目)	—											
心理学専門セミナーA	3前	1			4	6	4				兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	対人関係心理学特講B(ストレスと行動変容)	3前	2			1							
	多様性心理学特講A(コミュニティ心理学)	2後	2									兼1	
	多様性心理学特講B(異文化・多様性カウンセリング)	3前	2					1					
	福祉心理学特講A(成人と高齢者の心理学)	2前	2				1						
	福祉心理学特講B(児童養護)	3前	2						1				
	学校心理学特講A(ピア・サポートA)	3前	2		1	1		1		1			
	学校心理学特講B(ピア・サポートB)	3後	2		1	1		1		1			
	学校心理学特講C(学校臨床心理学)	2後	2			1							
	医療健康心理学特講A(力動的心理療法)	2前	2									兼1	
	医療健康心理学特講B(認知行動療法)	2後	2			1							
	医療健康心理学特講C(スポーツ心理学)	3前	2									兼1	
	医療健康心理学特講D(身体疾患と心理)	3後	2					1					
	司法犯罪心理学特講A(被害者支援心理学)	2前	2							1			
	司法犯罪心理学特講B(心理学と法)	2後	2				1						
	司法犯罪心理学特講C(加害と被害の臨床心理学)	3後	2							1			
	産業心理学特講A(キャリア心理学)	2前	2							1		兼1	
	産業心理学特講B(産業カウンセリング)	3後	2									兼1	
	小計(20科目)	—											
	心理学実習科目	心理学体験実習A(ボランティア)	1前	1			1		1		1		
心理学体験実習B(異文化体験)		2後	1		1			1		1			
心理学体験実習C(メンタルサポートボランティア)		3前	1			1		1		1			
心理学入門演習		1前	2				1	3		3		兼1	
心理学基礎演習		2前	2			2		2		2		兼1	
心理学調査法		3後	2			1				1			
小計(6科目)		—											
心理学実習科目	心理的アセスメント	3後	2				1						
	心理学的支援法	3前	2			1				1			
	心理演習A	4前	2		1	1	1			1			
	心理演習B	4後	2		1	1	1			1			
	心理実習	4通	2		3	6	3			4	5	3	兼1
	小計(5科目)	—											
研臨修地	臨地研修(短期)	2・3前	2				2			1	1		
	臨地研修(長期)	2・3通	4				2			1	1		
	小計(5科目)	—											
心理学専門セミナーA	3前	1			4	6	4		5	5	4	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー・卒業研究	心理学専門セミナーB	3後	1			4	6	4				兼1
	心理学特別セミナーA	4前	1			4	6	4				兼1
	心理学特別セミナーB	4後	1			4	6	4				兼1
	卒業研究	4通		4		4	6	4				兼1
	小計 (5科目)	—										
合計 (169科目)		—										
卒業要件及び履修方法												
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー・卒業研究	心理学専門セミナーB	3後	1			5	5	4				兼1
	心理学特別セミナーA	4前	1			5	5	4				兼1
	心理学特別セミナーB	4後	1			5	5	4				兼1
	卒業研究	4通		4		5	5	4				兼1
	小計 (5科目)	—										
合計 (169科目)		—										
卒業要件及び履修方法												
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	フレッシュマンセミナー	1前	1			1	2	3				
	ベーシックセミナー	1後	1			1	2	3				
総合科目	分野横断科目	大学生活と学問	1前	2		1						兼13
		知の探究法	1後	2								兼5
		「目白大学」を知る	1前	2								兼11
		科学的なものの見方・考え 方	1後	2								兼4
	学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後	2								兼3
		感性を磨く芸術論	2後	2								兼3
		知の対象としての恋愛	2後	2		1		1				兼3
		人間と遊び	2後	2								兼6
		社会生活のデザイン	2後	2								兼3
		子供とメディア	2後	2								兼3
		「観光」で読み解く現代社会	2後	2								兼6
		お金とつきあう	2後	2								兼3
		社会の中のことば	2後	2								兼2
		日本語再発見	2後	2								兼6
	コトバの実験室	2後	2								兼2	
	異分野入門科目	人文系学生のための情報 ネットワーク・データ活用 入門	2前	2								兼4
		マスメディア学入門	2前	2								兼8
		江戸から東京へ	2前	2								兼3
		ビジネス偉人伝～先達に学 ぶ生きるための智慧	2前	2								兼4
		ことばの「しくみ」と「は たらき」	2前	2								兼3
		東アジアの言語と文化	2前	2								兼2
		古典に学ぶ	2前	2								兼1
	グ ロ ー バ ル 課 題 探 求 科 目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前	2			1					兼4
		サステイナブル社会を考える	3前	2								兼5
		食と農から考える地域と世界	3後	2								兼3
		世界の今を学ぼう	3後	2								兼1
	日本国憲法	日本国憲法	1前・ 後	2								兼1
		遺跡を科学する（考古学）	1後	2								兼1
芸術と人間（芸術論）		1後	2								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
資格 関 連 科 目	政治のしくみ（政治学）	1前 ・ 後		2								兼1
	アジアの歴史と文化（東洋史）	1後		2								兼1
	西洋の歴史と文化（西洋史）	1前 ・ 後		2								兼1
	日本の歴史（日本史）	1前 ・ 後		2								兼1
	環境物理学	1後		2								兼1
	自然地理学概説	1後		2								兼1
	やさしい観光開発（観光開発論）	1後		2								兼1
	社会学	1前		2								兼1
	法学	1前 ・ 後		2								兼1
	社会学概論	1前		2								兼2
	漢文学の世界（漢文学論）	1前		2								兼1
	現代文学	1前		2								兼1
	倫理	1前		2								兼1
国 語	日本語読解演習 I	1前	1									兼4
	日本語読解演習 II	1後	1									兼4
	日本語表現演習 I	2前	1									兼4
	日本語表現演習 II	2後	1									兼4
	専門レポート基礎演習	2後	1									兼2
共 通 科 目	英語基礎 (Fundamentals of English) I	1前	1									兼4
	英語基礎 (Fundamentals of English) II	1後	1									兼4
	総合英語 (Integrated English) I	1前	1									兼4
	総合英語 (Integrated English) II	2前	1									兼4
	専門基礎英語 (Basic English for Special Fields)	2後	1									兼4
	English Test Strategies	1前 ・ 後		1								兼5
	English Using CALL	1前 ・ 後		1								兼2
	Advanced Reading	2前		1								兼1
	Business English	2前 ・ 後		1								兼1
	Communication in the Media	2前 ・ 後		1								兼1
	Communicative Listening and Writing	2前 ・ 後		1								兼1
	Dynamics of English Sound	2前 ・ 後		1								兼1
	Film English	2前 ・ 後		1								兼2
Practical English Grammar	2前 ・ 後		1								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
外国語	中国語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼4
	中国語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	中国語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	韓国語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼2
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	韓国語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	インドネシア語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼1
	インドネシア語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼1
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼3
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	フランス語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼2
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼2
	スペイン語基礎Ⅰ	1前・後		1								兼1
	スペイン語基礎Ⅱ	1前・後		1								兼1
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後		1								兼1
	応用中国語演習	2前		1								兼1
	応用韓国語演習	2後		1								兼1
応用インドネシア語演習	2後		1								兼1	
応用フランス語演習	2後		1								兼1	
応用ドイツ語演習	2後		1								兼1	
応用スペイン語演習	2後		1								兼1	
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2									兼2
	情報活用演習Ⅱ	2後	2									兼3
	情報活用基礎演習A	1前・後		2								兼2
	情報活用基礎演習B	1後		2								兼1
	情報活用応用演習	1前・後		2								兼2
	情報活用特別演習	2前		2								兼1
	数と情報	1前・後		2								兼2
スポーツ	生涯スポーツ1	1前・後		1								兼3
	生涯スポーツ2	2前・後		1								兼6
	生涯スポーツ3	3前・後		1								兼2

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
健康	健康科学	1前・後	1									兼2	
	健康科学演習（心とからだ）	2後		1								兼2	
	キャリアデザイン	専門とキャリアA	2前	1			1	2	2				兼1
		専門とキャリアB	2後	1			1	2	2				兼1
		仕事と社会	3前		1								兼1
		キャリア研修Ⅰ	1前・後		2								兼1
キャリア研修Ⅱ	2前・後		2								兼1		
心理学導入科目	心理学と社会A（家族とこころ）	1後		2		1							
	心理学と社会B（多様性・文化とこころ）	1前		2		1							
	心理学と社会C（消費者とこころ）	1前		2								兼1	
	心理学と社会D（人間関係とこころ）	1後		2								兼1	
	心理学と社会E（子ども相談入門）	1後		2				1					
	心理学と社会F（こころの予防教育）	1前		2				1					
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2									兼1	
	臨床心理学概論	1前	2					1					
	心理学統計法	1後	2			1	1					兼2	
	心理学研究法	2前	2					1					
	心理学実験	2後	4				1		2			兼1	
心理学発展科目	基本科目	知覚・認知心理学	1後	2									兼1
		学習・言語心理学	1後	2									兼1
		感情・人格心理学	2前	2				1					
		神経・生理心理学	1前	2									兼1
		社会・集団・家族心理学	1後	2					1				
		発達心理学	1前	2			1						
		障害者・障害児心理学	2後	2			1						
	実践科目	健康・医療心理学	2前	2			1						
		福祉心理学	2後	2					1				
		教育・学校心理学	2前	2			1						
		司法・犯罪心理学	2前	2				1					
		産業・組織心理学	2後	2					1				
		精神疾患とその治療	2後	2			1						
関連科目	人体の構造と機能及び疾病	3前	2			1							
	公認心理師の職責	3前	2					1					
	関係行政論	3後	2			1	1	3					
	家族心理学特講A（子どもの心理療法）	2後	2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	家族心理学特講B (芸術療法)	3後		2								兼1
	対人関係心理学特講A (パーソナリティと心理学)	2前		2		1						
	対人関係心理学特講B (ストレスと行動変容)	3前		2		1						
	多様性心理学特講A (コミュニティ心理学)	2後		2								兼1
	多様性心理学特講B (異文化・多様性カウンセリング)	3前		2		1						
	福祉心理学特講A (成人と高齢者の心理学)	2前		2			1					
	福祉心理学特講B (児童養護)	3前		2				1				
	学校心理学特講A (ピア・サポートA)	3前		2		1	1		2			
	学校心理学特講B (ピア・サポートB)	3後		2		1	1		2			
	学校心理学特講C (学校臨床心理学)	2後		2			1					
	医療健康心理学特講A (力動的心理療法)	2前		2								兼1
	医療健康心理学特講B (認知行動療法)	2後		2			1					
	医療健康心理学特講C (スポーツ心理学)	3前		2								兼1
	医療健康心理学特講D (身体疾患と心理)	3後		2		1						
	司法犯罪心理学特講A (被害者支援心理学)	2前		2				1				
	司法犯罪心理学特講B (心理学と法)	2後		2			1					
	司法犯罪心理学特講C (加害と被害の臨床心理学)	3後		2				1				
	産業心理学特講A (キャリア心理学)	2前		2				1				
	産業心理学特講B (産業カウンセリング)	3後		2								兼1
	実習科目	心理学体験実習A (ボランティア)	1前		1			1		1		
心理学体験実習B (異文化体験)		2後		1		1			1			
心理学体験実習C (メンタルサポートボランティア)		3前		1			1		1			
心理学入門演習		1前	2					1	3			兼1
心理学基礎演習		2前	2				1	1	2			兼1
心理学調査法		3後		2			1					
心理学的支援	心理的アセスメント	3後		2				1				
	心理学的支援法	3前		2				1				
	心理演習A	4前		2			1	1	1			
	心理演習B	4後		2			1	1	1			
	心理実習	4通		2		4	4	4				兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研 修 地	臨地研修（短期）	2・3前		2					2			
	臨地研修（長期）	2・3通		4					2			
卒 業 研 究 セ ミ ナ ー	心理学専門セミナーA	3前	1			5	4	5				兼1
	心理学専門セミナーB	3後	1			5	4	5				兼1
	心理学特別セミナーA	4前	1			5	4	5				兼1
	心理学特別セミナーB	4後	1			5	4	5				兼1
	卒業研究	4通		4			5	4	5			
卒業要件及び履修方法												
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、 選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「フレッシュマンセミナー」の専任教員等の配置を「准教授4、講師2」から「教授1、准教授2、講師3」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「ベーシックセミナー」の専任教員等の配置を「准教授4、講師2」から「教授1、准教授2、講師3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「雑穀文化を学ぶ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・科目担当者の退職のために、「知の対象としての恋愛」の専任教員等の配置における兼任・兼任数を4から3に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「「観光」で読み解く現代社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「サステイナブル社会を考える」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「食と農から考える地域と社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「政治のしくみ(政治学)」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「西洋の歴史と文化(西洋史)」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・科目担当者の退職のために、「日本の歴史(日本史)」の専任教員等の配置における兼任・兼任数を2から1に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「社会学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門基礎英語(Basic English for Special Fields)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「応用中国語演習」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学と社会E(子ども相談入門)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学統計法」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「障害者・障害児心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「家族心理学特講A(子どもの心理療法)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「対人関係心理学特講B(ストレスと行動変容)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授2、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教2、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学的支援法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授6、講師3、兼任・兼任1」から「教授4、准教授4、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。

【令和3年度】

- ・教育課程の充実を図るために、「フレッシュマンセミナー」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師3」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「ベシックセミナー」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師3」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「知の探究法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「科学的なものの見方・考え方」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「知の対象としての恋愛」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、兼任・兼任3」から「教授1、准教授1、兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「コトバの実験室」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「食と農から考える地域と世界」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「世界の今を学ぼう」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「English Test Strategies」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「生涯スポーツ1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「生涯スポーツ3」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門とキャリアA」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2、兼任・兼任1」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門とキャリアB」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2、兼任・兼任1」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「心理学実験」の専任教員等の配置を「准教授1、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、助教2、兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「福祉心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「精神疾患とその治療」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師3」から「教授1、准教授2、講師2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「学校心理学特講A（ピア・サポートA）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「学校心理学特講B（ピア・サポートB）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「産業心理学特講A（キャリア心理学）」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「心理学体験実習C（メンタルサポートボランティア）」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格及び担当者変更により、「心理学入門演習」の専任教員等の配置を「講師1、助教3、兼任・兼任1」から「准教授1、助教3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教2」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、講師4、兼任・兼任1」から「教授4、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「臨地研修（短期）」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「臨地研修（長期）」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。

【令和4年度】

--

【令和5年度】

--

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
35	134	0	169	35	134	0	169	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{169} = \boxed{0\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	隣地境界再測量のため(3) 校舎敷地と別地(電車・バス90分)		
	校舎敷地	49,716.30㎡	23,114.33㎡ 23,095.99㎡	14,083.86㎡	86,914.49㎡ 86,896.15㎡			
	運動場用地	0㎡	13,351.00㎡	13,800.00㎡	27,151.00㎡			
	小 計	49,716.30㎡	36,465.33㎡ 36,446.99㎡	27,883.86㎡	114,047.15㎡			
	そ の 他	1,877.06㎡	0㎡	0㎡	1,877.06㎡			
	合 計	51,593.36㎡	36,465.33㎡ 36,446.99㎡	27,883.86㎡	115,942.55㎡ 115,924.21㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	目白大学短期大学部と共用 中高倉庫を除却(3) 歯科衛生学科の設置等のための整備、新校舎(8号館)建設のため(2)			
	24,372.88㎡ (24,372.88㎡)	41,644.36㎡ 42,666.94㎡ (42,666.94㎡)	16,880.46㎡ 17,026.71㎡ 16,452.63㎡ (16,452.63㎡)	82,897.70㎡ 83,043.95㎡ 83,492.45㎡ (83,492.45㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	目白大学短期大学部と共用 新校舎(8号館)との接続のため通路等に改修(2)		
	94 95室	43室	61 57室	15室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			研究室の整備(2)		
	心理学部心理カウンセリング学科		18 17 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	心理学部 心理カウンセリング学科	403,000 [35,600] (373,710 [29,232])	1,450 [430] (1406 [407])	230 [210] (200 [190])	13,000 (12,747)	0 ()	0 ()	
	計	403,000 [35,600] (373,710 [29,232])	1,450 [430] (1406 [407])	230 [210] (200 [190])	13,000 (12,747)	0 ()	0 ()	
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
	4,393.13㎡	708	300,000					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,636.70㎡	テニスコート		—				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	実績に基づく(2)
	教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	2,871千円	2,200千円	2,200千円	
	共同研究費等	0千円 1,300千円	1,300千円	設備購入費	27,943千円	5,000千円	5,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,346千円 1,370千円	第2年次 1,096千円	第3年次 1,096千円	第4年次 1,096千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	誤記修正(2)
	学生納付金以外の維持方法の概要		経常費補助金、資産運用収入、付随事業収入 等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	目 白 大 学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
心理学部											
心理カウンセリング学科	4	125	—	500	学士 (心理学)	1.08	1.09	—	令和2	東京都新宿区中落合 4丁目31番1号	
人間学部											
心理カウンセリング学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	—	—	平成12	同上	令和2年学生募集停止
人間福祉学科	4	100	3年次 10	420	学士 (人間福祉学)	1.04	1.00	—	平成16	同上	平成29年度定員変更(△20)
子ども学科	4	140	3年次 10	580	学士 (子ども学)	1.03	1.06	—	平成19	同上	
児童教育学科	4	50	—	200	学士 (児童教育学)	1.05	1.10	—	平成21	同上	
社会学部											
社会情報学科	4	120	3年次 5	490	学士 (社会情報学)	1.04	1.13	—	平成12	同上	
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (社会科学)	—	—	—	平成12	同上	平成30年学生募集停止
地域社会学科	4	80	3年次 5	330	学士 (地域社会学)	1.06	1.07	—	平成18	同上	
メディア学部											
メディア学科	4	140	—	280	学士 (メディア学)	1.09	1.05	—	平成30	同上	
経営学部											
経営学科	4	130	3年次 5	530	学士 (経営学)	0.95	0.94	—	平成14	同上	平成29年度定員変更(10)
外国語学部											
英米語学科	4	80	3年次 5	330	学士 (英米語)	0.93	0.75	—	平成17	同上	
中国語学科	4	40	—	160	学士 (中国語)	1.09	1.20	—	平成20	同上	
韓国語学科	4	60	—	240	学士(韓国語) 学士(韓国語教育)	1.08	1.13	—	平成20	同上	
日本語・日本語教育学科	4	40	—	160	学士(日本語) 学士(日本語教育)	1.07	0.97	—	平成20	同上	
保健医療学部											
理学療法学科	4	85	—	340	学士 (理学療法)	0.97	0.83	—	平成17	埼玉県さいたま市 岩槻区浮谷320番地	平成29年度定員変更(5)
作業療法学科	4	60	—	240	学士 (作業療法)	0.76	0.61	—	平成17	同上	
言語聴覚学科	4	40	—	160	学士 (言語聴覚)	0.83	0.75	—	平成18	同上	
看護学部											
看護学科	4	105	—	420	学士 (看護学)	1.04	0.99	—	平成18	同上	平成29年度定員変更(5)
大学全体	—	1395	40	5380	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	目白大学大学院					学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
国際交流研究科											
国際交流専攻	2	20	—	40	修士(国際学)	0.32	0.40	—	平成11	東京都新宿区中落合4丁目31番1号	
心理学研究科											
現代心理学専攻	2	20	—	40	修士(心理学)	0.22	0.25	—	平成20	同上	
臨床心理学専攻	2	30	—	60	修士(心理学)	0.44	0.46	—	平成14	同上	
心理学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(心理学)	0.00	0.00	—	平成16	同上	
経営学研究科											
経営学専攻	2	20	—	40	修士(経営学)	0.07	0.10	—	平成16	同上	
経営学専攻(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(経営学)	—	—	—	平成21	同上	令和3年学生募集停止
生涯福祉研究科											
生涯福祉専攻	2	20	—	40	修士(社会福祉学) 修士(保育学)	0.05	0.05	—	平成19	同上	
言語文化研究科											
日本語・日本語教育専攻	2	10	—	20	修士(日本語学)	0.55	0.60	—	平成20	同上	
中国・韓国言語文化専攻	2	10	—	20	修士(中国語学) 修士(韓国語学)	0.10	0.10	—	平成20	同上	
看護学研究科											
看護学専攻	2	15	—	30	修士(看護学)	0.29	0.53	—	平成21	埼玉県和光市諏訪2丁目12番地	
リハビリテーション学研究科											
リハビリテーション学専攻	2	15	—	30	修士(リハビリテーション学)	0.09	0.06	—	平成24	東京都新宿区中落合4丁目31番1号	
大学全体	—	163	—	329	—	—	—	—	—	—	
大学の名称	目白大学短期大学部					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
製菓学科	2	55	—	110	短期大学士(生活科学)	1.08	1.16	—	平成19	東京都新宿区中落合4丁目31番1号	平成30年度定員変更(Δ10) 平成31年度定員変更(Δ15)
ビジネス社会学科	2	75	—	150	短期大学士(社会経済)	1.17	1.08	—	平成22	同上	平成30年度定員変更(Δ10)
歯科衛生学科	3	60	—	180	短期大学士(歯科衛生学)	0.78	1.13	—	令和元	同上	
大学全体	—	190	—	440	—	—	—	—	—	—	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理カウンセリング学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「目白大学新宿キャンパス各種委員会規程」並びに「目白大学さいたま岩槻キャンパス各種委員会規程」に基づき、新宿キャンパス（心理学部、人間学部、社会学部、メディア学部、経営学部及び外国語学部）並びにさいたま岩槻キャンパス（保健医療学部及び看護学部）毎に副学長（総務担当）を委員長とする「FD実施委員会」を設置している。【添付資料①】

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度はキャンパス合同で6月26日（金）に第1回FD実施委員会を実施し、メールで全ての構成員に審議事項を配信して承認を得た。
令和3年度も同時期に状況に配慮した形での開催を予定している。

c 委員会の審議事項等

- ・2020年度FD実施委員会構成員について
 - ・2020年度全学FD研修会実施計画(案)について
 - ・2019年度「FD活動実施報告書」
 - ・2020年度「FD活動実施計画書」
 - ・2019年度の授業評価アンケートの公開について
 - ・2020年度の授業評価アンケートの実施（大学）について
- 令和3年度も同様の内容を予定している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学FD研修会（計2回）
 - 「コンプライアンス教育・研究倫理教育」（第1回）
 - 「大学教育と遠隔授業」（第2回）
- ・学科でのFD活動計画書に基づいた研修の実施

b 実施方法

全学教員を対象とした「全学FD研修会」を年2回実施するとともに、学科単位でのFD研修会を年1回以上開催し、実施報告書を教務部研究支援課に提出することとしている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和2年度第1回全学FD研修会（令和2年9月開催（オンデマンド受講）・教員329名受講）
- ・令和2年度第2回全学FD研修会（令和3年2月開催（オンデマンド受講）・教員291名受講）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD研修会で取り上げた内容、授業参観のフィードバック、及び下記授業評価アンケート結果に基づき、各教員は授業の改善や教育技術の向上に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「学生による授業評価」実施要領に基づき、原則学期ごとに開講されているすべての科目について実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は、教務部教務課より各教員及び当該学科長(学科長にあつては学部長、学部長にあつては学長)にフィードバックされる。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙の通り

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

「令和3年度 自己点検・評価報告書」を令和3年7月末に公表予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定（令和3年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

令和4年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

目白大学心理学部は、現代社会における心理的諸問題に対応するべく、公認心理師を養成し、地域や社会へ積極的に貢献できる人材を輩出するために、「心理とカウンセリングの理論と実践の統合」の理念を生かし、教育と研究を行う目的で2020年4月に設置された。学部の目的を達成するために、2021年4月末日までに以下の取り組みを行った。

1. 入学者の確保

心理学部紹介ホームページ、オープンキャンパス、心理学部紹介パンフレットなどを通して、幅広い心理学領域を体系的に学べ、実践力を養うため、実習・演習科目群を多数開設していること、国家資格「公認心理師」対応カリキュラムであることなどの教育内容、及びアドミッションポリシー、履修モデルの説明を行った。その結果、入学定員125名に対して1220名という昨年度を上回る志願者を集めることができ、入学者数は137名となった。次年度も引き続き広報活動を充実させ、志願者と入学者の確保を行っていく。

2. 新入生オリエンテーション、及び履修指導

総合型選抜入試・学校推薦型入試の合格者に対しては、2021年2月にフォローアップセミナーを開催した。事前に心理学に関する書籍を読んだ上でレポートを提出してもらい、当日はZoomを用いた遠隔（オンライン）で集まり、提出されたレポートの発表や心理学を学ぶ動機などを伝え合うことを行った。このような機会を設けることで、入学前の段階から学生同士の交流を図らせ、学びのイメージを具体化させた。

2021年4月の授業開始前には、学部生全員が参加必須とするオリエンテーションを学年別を実施した。新入生に向けたオリエンテーションは対面型で行い、学部教育の基本的理念、人材育成目的、学部教育の特色などを説明した。加えて、学生便覧、シラバス、時間割等の資料を示し、卒業要件に必要な科目、履修方法、取得可能な資格などについて具体的な説明と質疑応答を行った。さらに、学部長、1年生担任（5名）から新入生に向けた挨拶も行った。新2年生に向けたオリエンテーションは遠隔（オンライン）オンデマンド型で行い、改めて学部教育の基本的理念や、履修科目を選択する際の注意点、資格取得に向けた計画的な履修の方法などについて確認した上で、心理学発展科目における基本科目、実践科目、関連科目の関係性や役割、特色などについて説明した。また、2年次以降から履修可能となる「心理学専修科目」についても、「心理学導入科目」との関係や科目の構成について説明を行った。新2年生に対しては、今後も授業内で専門分野選択のための説明を行い、周知徹底を図る。

来年度も同様に学年別オリエンテーションを実施し、学生の理解を重視するオリエンテーションを行い、科目の履修などについて深化させていく予定である。

3. 初年次教育

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、2020年度のほとんどの1年次配当科目は遠隔（オンライン）授業で実施した。心理学部における1年次配当科目は、「共通科目」と「専門教育科目」に分かれる。特に「専門教育科目」については、本学部が目指す人材養成の基本理念、学問体系を学生の入学当初に十分に教授する必要があることを踏まえ、心理学導入科目6科目、心理学基礎科目3科目、心理学発展科目：基本科目5科目、心理学演習実習科目2科目を設置している。

1) 心理学導入科目

心理学導入科目では、子どもや家族の問題から、消費者と社会、多様性、人間関係、こころの予防教育など、現代社会の問題を反映した幅広い領域について学ぶことで、社会と心理学との関係を理解し、一人ひとりが心理学を学ぶ意義を考えられるようにするために、以下のように授業を実施した。

「心理学と社会A（家族とこころ）」では、家族がもつ心理的機能について学び、その上で現在の日本の家族の特徴や問題点について講義を行った。「心理学と社会B（多様性・文化とこころ）」では、文化が個人の心理や行動にどのように影響するか、異文化接触のメカニズムについて探るとともに、社会の様々な多様性を身近な問題として捉え心理学の諸理論に基づいて講義を行った。「心理学と社会C（消費者とこころ）」では、消費者の購買行動、意思決定に関わる社会心理学的メカニズムの説明を行った。「心理学と社会D（人間関係とこころ）」では、円滑な人間関係を築く実践的な力を獲得するために、人間関係に影響を及ぼす知見に関する講義を行った。「心理学と社会E（子ども相談入門）」では、大人とは質的に異なる子どもの主観的世界に気づき、心理学的に理解できるよう、子どもが描かれた様々な作品を分析しながら講義を行った。「心理学と社会F（こころの予防教育）」では、精神的健康の予防に関する基礎理論を紹介し、教育、産業、コミュニティなどでの実施例を講義した。このように、心理学導入科目として身近な心理学に触れることにより、心理学への関与を高め、学びの意欲・関心を涵養した。

2) 心理学基礎科目

心理学基礎科目では、心理学の科学的な考え方を修得することを目的とした3科目を配置し、以下のように授業を実施した。「心理学概論」では、幅広い心理学の諸分野における概念や理論を説明し、今後のすべての科目の基礎となる科学研究に関する講義を行った。「臨床心理学概論」では、臨床心理学の主要な理論について紹介し、関連するアセスメント・介入についての概要、臨床心理学実践の実態について講義した。「心理学統計法」では心理学の研究で用いられる基礎的な統計手法について、演算などを取り入れながら、分析のプロセスが体験的に理解できる授業を展開した。

3) 心理学発展科目：基本科目5科目

心理学発展科目のうち基本科目では、幅広い心理学領域の基礎となりうる5科目を配置し、以下のように授業を実施した。「知覚・認知心理学」では、私たちが外界をどのようにとらえ、把握し、行動につなげているのかに関する講義を行った。「神経・生理心理学」では、人間の脳の機能や仕組みについて説明し、「心」という現象の理解を深めることを行った。「学習・言語心理学」では、学習心理学の諸領域の研究手法および理論等を説明し、心理学的な観点から心身の諸機能について理解を深め、言語習得における機序を把握させた。「社会・集団・家族心理学」では、対人関係並びに集団における人の意識、態度、行動について、また、集団、家族、文化が個人に及ぼす影響について、社会心理学における主要な理論をもとに講義を行った。「発達心理学」では、乳幼児から高齢者までの生涯発達心理学の視点から、各発達段階に関する基礎的理論、及び発達の特徴について講義を行った。これらの科目を通して、幅広い心理学を理解する導入的視点を習得させた。

4) 心理学演習実習科目

「心理学入門演習」では、最初にグループ学習の基礎的な知識を理解させた上で、実際のグループ学習を通して、アサーションのテキストを理解し・要約し・発表し・討論することにより、学生同士で主体的に学び合う授業を行った。自分で問題意識をもち、そのことについて調べ、他の学生との意見交換をすることを通して課題解決をする力を涵養した。また「心理学体験実習A（ボランティア）」では、高齢者や障がい者に関する心理的・身体的知識について講義を通して理解した上で、高齢者に対する「おたよりボランティア」を実施し、高齢者との交流を深めた。また、共生社会やノーマライゼーションの理念を踏まえ、身の周りにあるユニバーサルデザインを発表し、社会問題としてどのようなことがあるか、ボランティア活動につなげるためにはどのように実践していけばよいかを検討した。このような心理学演習実習科目では、自らが考え、行動し、発表するという実践的な授業を展開した。

5) 共通科目

1年次春学期の共通科目「フレッシュマンセミナー」では、新入生が大学生活を有意義に過ごすために共通に身につけるべき基本的な態度・資質・能力などを育むことを目指し、大学の授業を受ける上で必須となる図書館の活用仕方、授業のノートの取り方、レポートの書き方、論理的思考等の学びの技法に関する講義を行うとともに、教員への相談の仕方や、他者との良好なコミュニケーションの方法について説明した。あわせて単位の取り方や資格についてなど、大学生活を送るうえでの基本情報を伝えた。また、クラス担任とのZoomを用いた遠隔（オンライン）面談を通じて、個別の生活指導、履修指導を行った。

1年次秋学期の共通科目「ベシックセミナー」では、遠隔（オンライン）でのグループワークを複数回行い、クラス内での交流を促し、学生同士のコミュニケーション力の向上を図った。また、課題を実行するプロジェクト学習を行い、最終発表までの過程での文献調査、資料作成、プレゼンテーション準備、発表を通じて、心理学の専門教育を受けるために基盤となる「話す・聞く・書く・読む」力を身につけるよう授業を展開した。2年次でも積極的にクラス内での交流の機会を設け、学生のコミュニケーション力の向上を図ることとあわせて、クラス担任との個別面談の機会を設け、生活指導、進路指導を行っていく。

4. 施設の整備状況、及び実習先の確保状況

臨床心理学実習支援室の整備・運営は当初の計画通りに行われ、実習施設からの情報を集約し、問題が生じた場合に的確に把握し、迅速に対応できる体制を整えている。また、公認心理師のための実習先は、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働すべての領域で確保しており、2021年度から見学実習を行う予定である。

以上のことから、設置の趣旨・目的に関して2021年5月1日時点としては、当初の計画を概ね達成することができていると言える。